

反角新潟大集会に参加して

派遣代表
団=A君より

二月十四日、「反金権、田中角栄即時辞職要求、中曾根内閣糾弾 新潟全国集会」が田中角栄の地元新潟県長岡市で開かれました。会場の厚生会館には全国各地から約八千名が集まりました。前々日から降りはじめた大雪が長岡駅から会場までの街並みを一メートル以上の積雪でおおい、この日もなお降り続くなかった。全国から結集する労働者の列が、雪に負けないほど続きました。それは77年、当時の権力の座を利用し、ロッキード汚職の大罪を犯し、今日なおひらき直つてゐる犯罪人田中角栄に対する怒りと、田中の「カイライ」反動中曾根内閣に対する怒りの大きさをはつきり示すものがありました。

反動・腐敗の田中＝中曾根内閣打倒

集会は、一四時、演壇の右袖の「反田中角栄」と書かれた大ちようちんが、突然燃えだすといふハブニングから開始され、主催者をあわてさせる場面がありました。大ちようちんの炎は、会場に結集した労働者の怒りの炎でもあるかのように激しく燃えさかり、おもわず会場から拍手が起ころりありました。

冒頭、労働界を代表して、総評・楳枝議長が起ち、「田中は、金で権力の座につき、権力の座を利用して五億円という大金をふところにし、汚職した。これはすべて自己利益と反動腐敗政治の資金となつた。そして、すべて国民を金であざわらい、今なおひらき直つてゐる。われわれは、こうした犯罪人田中を許しておることはできない。今こそ全労働者の手で議員辞職を勝ちとろう」と発言しました。

続いて、社会党・飛鳥田委員長が、「金のつながりとそれとの利権だけで一〇〇名以上のいわゆる田中軍団を形成し、このような田中軍団の後おしで、ますます反動と腐敗を強めているのが中曾根内閣だ。このような者達に日本の政治をまかせておいては非常に危険である。こうした政治を皆さんとスクランブルを組んで変えていかなければならぬ。その先頭に社会党が起ち、83政治決戦に勝利しよう」と決意を表明しました。それぞれの発言の後、護憲連合の代表、社会党・新潟県本部代表、日農代表、婦人代表、地方代表として鹿児島三区（自民党・田中派、二階党進の出身地）代表の発言が続きました。記念講演として、朝日新聞論説委員・筑紫哲也氏の講演が行われ、「田中角栄という現代の犯罪人を創つたのは、田中自身の権金腐敗体質はもちろんあるが、それを許していいるという国民自身の責任も大きい。われわれ自身の手で、この田中を葬り去ることが民主主義への出発点だ」と一時間にわたる講演を結びました。

3 政治決戦に背を向け、社会党・総評を攻撃する動労「本部」革マル



83, 2, 21

No. 1271

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八 (動力車会館)
(鉄電)二九三五六・(公衆)〇四七二二二七〇七

一方、地元・新潟で二〇〇名の動員を要請された動労新潟地本は、それでも一〇〇名たらずで会場に登場したもの、まつたく意氣が上つていません。そもそも、動労「本部」革マル反動分子は、田中＝中曾根反動政治に対決して闘うという基本的な方針を放棄して、「反動の強いときは、闘うべきではない。天気が晴れたら山に登ろう」という日和見＝逃亡の方針ゆえに、まつたく闘う気持ちをもち合わせていないというのが実情です。

83年政治決戦の勝利をとおして、反動中曾根内閣を打倒しようという、全体の怒りの気持ちに背を向けて、彼ら反動分子の掲げたスローガンは、なんと、「選挙に熱をあげる社会党はナンセンスだ」という趣旨のもので、全体から怒りとひんしゅくをかつっていました。

中江選挙勝利、中曾根内閣打倒を！

圧倒的に成功した、会場を後に降りしきる雪、積つた雪をかきわけるかのように、熱のこもつた大デモンストレーションが田中角栄の地元・長岡市を一日中制圧しました。反動中曾根政権を必ず打倒することを決意し、わが動労千葉からの代表参加者はその先頭で闘い、帰路に着きました。

船橋市議選=中江昌夫候補の必勝をがちとろう！

中江さんとおつきあいは、私が始めて参議院（全国区）に立候補して以来ですかねも十九年になります。この間、私の選対事務局長をして頂くなど公私ともにお世話をなっている人です。

中江さんとのおつきあいは、私が始めて参議院（全国区）に立候補して以来ですかねも十九年になります。この間、私の選対事務局長をして頂くなど公私ともにお世話をなっている人です。

中江さんは、必ず社会党のホープとして、その期待に応える人です。当選のために全力をあげて頑張りましょう。

中江さんには待します

田中寿美子 (参議院議員)

中江さんは三十年にもわたって、労働運動の中央指導者として活躍してきた、非常に責任感の強い行動力のある人です。